

一般社団法人 生活クラブ福祉事業基金

2027年度【第4回】「つながりづくり助成」実施要項

2026年5月11日
一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 理事会

1. 趣旨

・生活クラブ福祉事業基金「つながりづくり助成」は地域とのつながりや支え合いをつくるために 2024 年度に創設され、応募も多数あり必要性も確認できたため 2027 年度も継続して取り組みます。地域社会への貢献や福祉の日常化※を目指し、生活クラブ福祉事業基金が組合員にとって必要で身近になることを目的に、事務手続きなどを簡素化、チャレンジ性を重視した新たな取り組みを支援し、少人数の組合員が身近な地域で居場所づくりなどの活動を始めてみようと思えるような参加型福祉の実践を応援しました。

※福祉の日常化・・・誰にでも起こりうる困りごと、そして支援を日常的な営みに埋め込むことで、する側・される側含めて特別なものにしてしまわない共生型社会の構築を行うこと。それは「支える側」を支えなおし、「支えられる側」の参加機会を拡大する双方向的な取り組みであり、日常の中に支えあう関係をつくりだすこと、誰もが担い手となる在りようをめざすことです。

・2026年度「つながりづくり助成」は審査会を2026年2月2日(月)・3月6日(金)に開催し、5団体/970,000円の助成を行いました。

・①生活クラブと共に地域の中でのつながりや支え合いをつくる。②福祉の日常化をすすめる。③チャレンジ性を重視した新たな取り組みを支援する。以上3点を目的に「つながりづくり助成」へ取り組んでいきます。

2. 助成対象団体

- ① 生活クラブ会員単協と日常的に交流のある団体。
- ② 会員単協と連携して新規で立ち上げる活動または事業を行なう団体。

※ 必要とする団体・個人との対応は単協が窓口としてすすめます。

3. 助成対象となる活動または事業と助成金額

●助成対象活動または事業：地域とのつながりや支え合いをつくることが地域社会への貢献、福祉の日常化につながるという視点を持つ活動または事業。

①新規で立ち上げる活動または事業が助成対象です。

※既存団体でも新規で対象の活動または事業を立ち上げる場合は助成対象となります。

②組合員3人以上が関わり、定期的(月1回以上の開所や活動)な計画をもつことを原則とします。

・1年間で1回を助成の上限とします。

・1単協で1年間2団体までの申請とします。

(東京単協・神奈川単協は、ブロック単協4・地域生協5それぞれで2団体ずつ募集可能です)

・当該単協理事会の推薦書が必要です。

●助成額：500万円

○助成金額：1件につき20万円

以下の新規事業・活動に支援します。

1) みんなの食堂・子ども食堂

- ・事業を立ち上げるみんなの食堂・子ども食堂を応援します。
- ・定期的（月1回以上）な開所や活動計画を持つ活動または事業が対象です。

2) フードバンク事業

- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭に対し支援活動を行う予定、フードバンク拠点の開設を計画している団体のフードバンク活動または事業を応援します。
- ・定期的（月1回以上）な活動計画を持つ活動または事業が対象です。

3) 多様な居場所・学び支援事業

- ・多様な居場所づくりや学び支援活動・事業を立ち上げる計画がある団体を応援します。
- ・定期的（月1日以上）に開所または実施計画がある団体を対象とします。

○経費:200万円

1) 伴走支援(100万円)

- ・福祉政策の推進・拡充をめざす単協に対して、学習会開催支援や講師派遣、課題整理など、伴走支援へのための費用とし、2単協への支援を実施します。支援にあたっては当該単協と支援計画を確認した上での実施とします。
- ・現状の単協間の支援機能の実態が大きく異なりますので、すでに機能を持つ首都圏単協は単協内での対応を基本とします。

2) 広報(100万円)

- ・「つながりづくり助成」をアピールしたチラシを作成し共済連総会などで配布します。また、連合会公式サイトで団体取材報告を連続して広報し、それらをまとめた固定ページを作成します。

4. 助成対象となる活動または事業の活動期間

- ・2027年4月1日～2028年3月31日

5. 助成申し込み締め切り

- ・申請団体 → 単協 : 各単協で設定(相談会は9月・10月・11月を予定)
- ・単協 → 一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 事務局 : 2026年12月17日(木)

6. 対象となる経費

- ・物品購入費、消耗品費、交通費（ガソリン代含む）、運搬費、会場費、食材費、広報費、講師謝金、ボランティア活動費、保険料（ボランティア保険）など。
- ・団体の運営にかかる費用は対象外（会議費・家賃・食事代・光熱費など）
- ・助成金額については申請書に記載した金額通りの運用を基本とします。ただし、項目内の金額変更については、当該単協と確認の上、可とします。

7. 選考の方法と評価視点

1) 選考方法

- ・生活クラブ福祉事業基金理事会が設置する審査会にて選考します。
- ・書面による選考とします。
- ・単協推薦を考慮する審査とします。審査は、要項に沿っての応募となっているかを中心に実施します。

8. 申請期間・選考及び助成時期

第4回

2027年4月1日～2028年3月31日(助成対象となる活動または事業の活動期間)

募集開始:2026年5月14日(木)

相談会:2026年9月・10月・11月

※応募予定団体・単協事務局は相談会への参加を推奨します。

募集締め切り:2026年12月17日(木)

※募集締め切り前に単協から団体への質問(単協と団体のコミュニケーションの良い機会)を推奨します。

審査会:2027年2月3日(水)

助成金支払い:2027年5月以降

9. 応募方法、助成の決定等

① 応募申請書の提出先

申請書(別紙)をメールまたは郵送で下記に提出ください。

- 1) 生活クラブ会員単協と交流のある各都道府県の生活クラブ生協本部となります。
- 2) 単協は生活クラブ共済連へ応募申請書を提出してください。

※応募申請書とは別に申請団体の設立趣意書や規約など団体の概要がわかる書類も併せてご提出ください。

② 申請書の流れと助成

- 1) いただいた申請書は各地域の生活クラブ生協理事会の推薦に基づき、一般社団法人生活クラブ福祉事業基金(以下、一社福祉基金)の審査会で審査し、結果を審査会終了後1週間以内に生活クラブ会員単協を通してお知らせいたします。
- 2) 審査は書類選考です。さらに詳しい書類や聞き取りをする場合があります。

10. その他

- ・他の行政や民間助成等の助成を受けている活動または事業の場合は申請書に明記ください。
- ・活動終了後に報告書の提出をお願いいたします。
 - 1) 報告書については推薦を行った生活クラブ会員単協が確認し、生活クラブ会員単協から報告書提出をして下さい。【提出締め切り:2028年4月21日(金)まで】
 - 2) 報告書には1年間の決算報告を明記して下さい。
 - 3) 領収書やレシートの提出は不要です。
- ・生活クラブからの活動または事業の取材等にご協力ください。
- ・助成金により購入した備品やリーフレット等に、ロゴマークや文言*を表示してください。

※文言の内容は「この〇〇はつながりづくり助成金を活用しています。」としてください。
(イメージ図)



- ・報告書に関しては、推薦の単協を通じて追加の報告を要請する場合がありますので、その際にご協力ください。
- ・活動または事業の実態が確認できなかった場合、趣旨と異なる使途が判明した場合は、助成金の返還を求める場合があります。

11. 本事業の問合せ先

生活クラブ共済連気付 一社福祉基金 担当 早川 渉

Email wataru.hayakawa@s-club.coop

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDX新宿六丁目ビル 3階

Tel 03-4360-3659 Fax 03-5285-1864

第4回「つながりづくり助成」申請書

* 推薦を受けるため生活クラブ〇〇(担当〇〇)へ提出してください。

提出日 年 月 日

※組合員3人以上が関わり、定期的(月1回以上の開所や活動)な計画をもつことを原則とします。

【申請団体概要】

団体名	フリガナ		
住所	〒		
代表者名	氏名	役職名	
担当者	氏名	役職名	
	email		
	電話番号/携帯電話		
設立年月日		活動地域	
主体となる人数	人 (うち組合員 人)		
【新規】事業活動名			
団体の目的			
新規となる活動または事業の概要			
①年間収支計画【初年度予算計画の中に自己調達金(会費等)の計画も含めて下さい】 ②年間活動計画 ※それぞれ①②の資料を添付下さい。			
* 主要な事項を簡潔に記載のうえ、直近の総会議案書や資料を添付ください。			
今回応募する活動または事業の他の助成状況 *他の助成を受けていても申請は可能です。			
連携している団体			

推薦書

応募団体名		
推薦者 (単協)		
単協 担当者	氏名	部署・役職名
	Tel	
	email	
応募団体との連携 <u>*具体的にお書きください。</u>		
推薦理由		

以上のとおり、理事会にて検討し推薦を決定しましたので、この推薦書を提出します。

____年 ____月 ____日

代表者氏名 _____ 法人印 _____

一社福祉基金事務局記入欄: 受付 _____ / No _____

